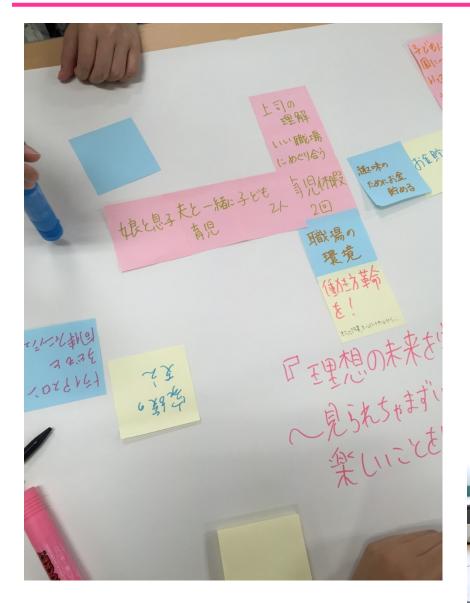
当日の様子①







当日の様子②







当日の様子③





15人が卒業後の人生についてイメージを膨らませた。 県と、子育て支援活 駅と、子育で支援活 駅と、子育で支援活 町の流がに取り組むNP つ法人ワークライフ・コラボ (松山市) が実施する「えびめの次代施山市」が実施する「えびめの次代施山市」が実施を開く。 1001年 第201年 第20



自分の理想の未来について意見を交わす

夜市の「目玉」 三輪車レース *月6日八幡浜

)5840

主フ万るべ日。「を町

愛媛大で公開講理想像を設計

東之理事は、少子高齢化 父親支援に取り組む 意見が出た。

の き方がするこ述べたの き方がすることがでいるの き方がすることがでいたいというり 「共働きしたいというり」 共働きしたいというし が漢然としているのし が漢然としているのし が漢然としているのし が漢然としているのし が漢然としているの

テらッ

. -

事業を通して、学生(次世代)への 働きかけのために必要なこと



★学生にかかわるコーディネーターの存在(資質)

(単なる事業処理担当者ではない)

学校との折衝・企画・学生(スタッフ)とのかかわり・企業への投げかけ・ 地域子育て支援施設への折衝など、

少子化の現状と男女共同参画の知識なくしては厳しい状況。

自己開示力、要約力、少子化対策とライフデザインは別物である認識、など

- ★男子学生側への訴求
- ★学校側との連携体制(参考:愛媛大学「えひめ学」)
- ★男性社会人講師の養成(自己開示力が女性より低い、価値観の折り合いが必要な経験(転職や休業・結婚・子育て等)が女性より少ないことから)
 - ①地域コーディネーターの育成 ②大学授業での単位化 ③企業の中堅人材の育成(管理職の理解)